

令和 6年度予算見積調書

課室名: 行政・デジタル改革課

担当名: DX推進担当

内線: 2442

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p7	A I ・ R P A 等による業務効率化推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし			針路分野施策	08 0805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-4, 9-b
1 事業概要	<p>A I 等新技術の導入により、業務効率化、生産性向上を図り、職員が政策立案に集中する時間の確保や、ペテラン職員のノウハウや知識の継承等を目指す。</p> <p>ア R P A 技術による事務の自動化 38,034千円 イ 音声認識技術による音声テキスト化 13,860千円 ウ 庁内向け自動応答システムの運用 713千円 エ 音声翻訳システムの運用 2,163千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア R P A 技術による事務の自動化 38,034千円 イ 音声認識技術による音声テキスト化 13,860千円 ウ 庁内向け自動応答システムの運用 713千円 エ 音声翻訳システムの運用 2,163千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 定型業務を自動化するR P A や A I - O C R の着実な運用を図る。 イ 記者会見や各種会議等において、音声を自動で変換する議事録作成支援サービスの利用を推進する。 ウ 庁内向け自動応答システムを運用する。 エ A I 技術を活用した自動翻訳システムの運用により、行政サービスや生産性の向上を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 定型的な事務に要する時間を削減することで、政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。 イ 議事録作成支援サービスを活用することで、書き起こし等の単純作業に要する時間を削減することができ、職員が政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。 ウ 時間外でも常時間合せが可能となり、職員の利便性向上、有人ヘルプデスクの負荷軽減が図られる。 エ タブレット端末・専用アプリを運用する。 【活動指標 (アウトプット)】 R P A 導入業務数67業務 【成果指標 (アウトカム)】 業務時間削減効果50,000時間</p>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	54,770							54,770	△11,212
前年額	65,982							65,982	

事業内訳書

事業名	A I ・ R P A 等による業務効率化推進事業		
単位事業名	R P A 技術による事務の自動化	予算額	38,034千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	38,034	△3,270	
合計	38,034	△3,270	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	5,500	0	A I - O C R 利用料
委託料	31,095	△3,270	R P A ツール活用支援業務委託 A I - O C R 活用支援業務委託
使用料及び賃借料	1,439	0	R P A 操作用パソコンリース
合計	38,034	△3,270	

単位事業名	音声認識技術による音声テキスト化	予算額	13,860千円
-------	------------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	13,860	12,540	
合計	13,860	12,540	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	13,860	12,540	音声認識サービス利用料
合計	13,860	12,540	

単位事業名	庁内向け自動応答システムの運用	予算額	713千円
-------	-----------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	713	△132	
合計	713	△132	

単位事業名	庁内向け自動応答システムの運用	予算額	713千円
-------	-----------------	-----	-------

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	713	△132	庁内向け自動応答システム利用料
合計	713	△132	

単位事業名	音声翻訳システムの運用	予算額	2,163千円
-------	-------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2,163	△550	
合計	2,163	△550	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	2,163	△550	音声翻訳アプリ利用料 音声翻訳アプリ用タブレット通信費
合計	2,163	△550	